様式 1_Ver.3.0_20230901

市立函館病院に通院・入院中または過去に通院・入院された患者さままたはご家族の方へ

当院では、下記の研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせください。研究への利用を希望されない場合でも、診療上の不利益を受けることはありません。

2026 年 9 月 12 日

研究課題名	潰瘍性大腸炎の予後予測における体外式腹部超音波検査有用性の検討
研究機関名 長の氏名	市立函館病院・病院長　森下 清文
研究責任者名 所属	木下 賢治・消化器内科
[多機関共同研究] 研究代表者	なし
[多機関共同研究] 共同研究機関名 研究責任者名	なし
研究の目的	臨床的寛解にある潰瘍性大腸炎患者さまを対象に、通常診療で実施された体外式腹部超音波検査（IUS）による腸管壁の状態、便中カルプロテクチン（FC）、大腸内視鏡所見と、その後の再燃との関連を後方視的に検討し、非侵襲的な検査による再燃リスク評価の有用性を明らかにすることを目的とします。
研究の方法	〈対象となる患者さま〉 2017 年 12 月 1 日から 2026 年 5 月 31 日までに当院で診療を受けた潰瘍性大腸炎患者さまのうち、臨床的寛解にあり、少なくとも直前 6 か月間に治療変更がなく、通常診療として体外式腹部超音波検査が実施された方を対象とします。 〈利用する情報〉 年齢、性別、罹病期間、病型、治療内容、臨床活動性（Mayo/partial Mayo）、血液検査、便中カルプロテクチン、体外式腹部超音波所見（腸管壁厚等）、大腸内視鏡所見（Mayo 内視鏡サブスコア）、病理組織所見（通常診療で得られている場合）、再燃の有無・時期、治療変更、最終受診日等。 本研究のために新たな検査、採血、採便、内視鏡検査や治療は行いません。
研究実施期間	実施許可日**～2027 年 3 月 30 日**
他の研究機関への 試料・情報の提供	他の研究機関への試料・情報の提供はありません。
外国への 試料・情報の提供	ありません。
個人情報の取扱い	この研究に関する資料やご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さまの個人情報や研究に支障となる事項以外はお知らせすることができます。 研究に利用する情報は、氏名、住所、診察券番号など個人を直接特定できる情報を研究用データから削除し、研究用 ID を付して適切に管理します。研究成果は学会や学術雑誌等で公表する予定ですが、その際も患者さまを特定できる情報は公表しません。
連絡先・相談窓口	〒041-8680　北海道函館市港町 1 丁目 10 番 1 号 市立函館病院　消化器内科　木下 賢治 電話：0138-43-2000（代表）